FIDEA GROUP

News Release

2025 年 4 月 28 日
株式会社　北都銀行

横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会との「横手 J-クレジット活用に関する連携協定」の締結について

株式会社北都銀行（本店：秋田県秋田市、頭取：佐藤　敬）は、横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会（会長：髙橋　大、以下「協議会」という）と「横手 J-クレジット（※1）活用に関する連携協定」を締結しましたので、下記のとおりお知らせします。

カーボンニュートラル実現には、再エネの導入や省エネの実施が必要となるほか、ＣＯ２排出量の削減が難しい場面においては、カーボン・オフセット（※2）の取り組みが重要となります。本連携協定では、協議会が創出する横手 J-クレジットを活用し、J-クレジットの地産地消による脱炭素経営支援等を実施し、地域脱炭素による新たな経済循環を創出、地域経済と森林産業の活性化を目指します。

弊行では、脱炭素に意欲的に取り組む地域への支援に積極的に取り組むとともに、カーボンニュートラル社会の実現、ひいては地域の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1．　締結日

2025 年 4 月 28 日（月）

2．　締結目的

横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会が保有及び今後創出する Jークレジットを通じた地域脱炭素の実現、地域経済及び森林産業の活性化に貢献することを目的とした連携協定を締結する。

3．　本協定に基づく連携事項

（1）J-クレジットの販売（当行による販売先の紹介、当行の連携先を活用した販売協力等）

（2）J-クレジット地産地消の推進

（3）J-クレジットの活用（カーボンオフセット）に関する普及啓発

（4）その他、本協定の目的に資すると双方が認める事項

※１　Ｊ－クレジットとは、環境省、経済産業省、農林水産省が運営するベースライン&クレジット制度であり、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をＪ－クレジットとして認証しています。2023 年 11 月時点で 70 の方法論があり、家庭・中小企業・自治体等の省エネ・低炭素投資等を促進し、クレジットの活用による国内での資金循環を促すことで環境と経済の両立を目指しています（「横手 J-クレジット」は、上記制度に基づいた森林由来のクレジットです）。

※２　カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない CO2 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

北都銀行

4. 連携協定締結の様子

左から 横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会 副会長 備前雄一氏
横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会 会長 髙橋大氏
北都銀行取締役常務執行役員 伊藤大介
フィデアホールディングス取締役会長（北都銀行取締役） 伊藤新

以 上

本件に関するお問い合わせ先（報道機関）
広報 IR 室 TEL：018-837-1766

北都銀行